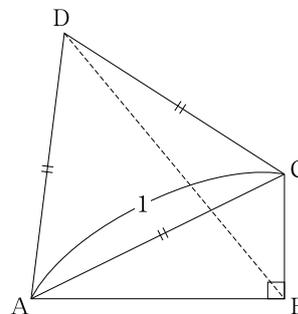


第5講 三角関数(2)

例1 ACを斜辺とする直角三角形ABCがあり、
 AC=1である。図のように三角形ACDが正三角
 形となるように、点Dを直線ACに関してBと反
 対側にとる。条件を満たしながら三角形ABCが動
 くとき、三角形ABDの面積Sの最大値を求めよ。



解 $\angle CAB = \theta$ ($0 < \theta < \frac{\pi}{2}$) とおく。

$$\cos \theta = \frac{AB}{AC} \text{ より,}$$

$$AB = AC \cos \theta = \cos \theta.$$

$\angle DAC = \frac{\pi}{3}$ であるから,

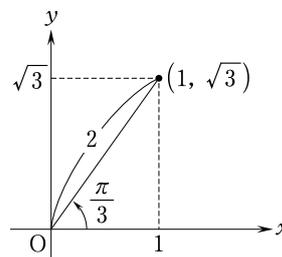
$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2} AB \cdot AD \sin \angle DAB \\ &= \frac{1}{2} \cos \theta \cdot 1 \cdot \sin \left(\theta + \frac{\pi}{3} \right) \\ &= \frac{1}{2} \cos \theta \left(\sin \theta \cdot \frac{1}{2} + \cos \theta \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} \right) \\ &= \frac{1}{4} (\sin \theta \cos \theta + \sqrt{3} \cos^2 \theta). \end{aligned}$$

$\sin \theta \cos \theta = \frac{\sin 2\theta}{2}$, $\cos^2 \theta = \frac{1 + \cos 2\theta}{2}$ であるから,

$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{8} (\sin 2\theta + \sqrt{3} \cos 2\theta + \sqrt{3}) \\ &= \frac{1}{8} \left\{ 2 \sin \left(2\theta + \frac{\pi}{3} \right) + \sqrt{3} \right\} \\ &= \frac{1}{4} \sin \left(2\theta + \frac{\pi}{3} \right) + \frac{\sqrt{3}}{8}. \end{aligned}$$

$0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ より, $\frac{\pi}{3} < 2\theta + \frac{\pi}{3} < \frac{4}{3}\pi$ であるから, $2\theta + \frac{\pi}{3} = \frac{\pi}{2}$,

すなわち, $\theta = \frac{\pi}{12}$ のとき, $\sin \left(2\theta + \frac{\pi}{3} \right)$ は最大値 1 をとる。



よって、このとき S も最大となり、 S の最大値は

$$\frac{1}{4} \cdot 1 + \frac{\sqrt{3}}{8} = \frac{2 + \sqrt{3}}{8}.$$

例 1 のように、適当な角を θ とおくことにより、三角関数を用いて図形量の最大値や最小値を考えることができる。

問 1 例 1 において、線分 BD の長さの最大値を求めよ。

5・3 $AB = \sqrt{3}$, $BC = 1$, $CA = 2$ の直角三角形 ABC の内部に点 P があり,

$\angle BPC = \frac{2}{3}\pi$ を満たして動く. また, $\angle PBC = \theta$ とする.

- (1) CP の長さを θ を用いて表せ.
- (2) AP の長さの最小値を求めよ.



5・4 平面上で、鋭角三角形 OAB を辺 OB に関して折り返して得られる三角形を三角形 OBC, 三角形 OBC を辺 OC に関して折り返して得られる三角形を三角形 OCD, 三角形 OCD を辺 OD に関して折り返して得られる三角形を三角形 ODE とする. 三角形 OAB と 三角形 OBE の面積比が 2:3 のとき, $\sin \angle AOB$ の値を求めよ.